



# 5月29日(金)から 新しい防災気象情報へ

防災気象情報の運用が新しくなります。河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮に関する情報が「5段階の警戒レベル」と連動した名称に統一され、危険度がより分かりやすくなりました。

**Point** 警戒・注意報の情報名に「レベル」が付記されます。

**Point** 河川の氾濫の危険度の伝え方が変わります(特別警戒の新設など)。  
※「洪水注意報」「洪水警戒報」は廃止されます。  
→江の川の洪水は河川氾濫警戒報、その他の河川の洪水は大雨警戒報。

**Point** 「警戒レベル4相当」の情報は新たに「危険警戒報」として発表されます。

適切なタイミング  
で避難できるよう、  
新しい情報を確認  
しておきましょう。



	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮
警戒 レベル 5 相当	〈レベル5〉 氾濫特別警戒報	〈レベル5〉 大雨特別警戒報	〈レベル5〉 土砂災害特別警戒報	〈レベル5〉 高潮特別警戒報
とるべき行動 命の危険、直ちに安全確保				
⚠ 警戒レベル4までに危険な場所から必ず避難 ⚠				
警戒 レベル 4 相当	〈レベル4〉 氾濫危険警戒報	〈レベル4〉 大雨危険警戒報	〈レベル4〉 土砂災害危険警戒報	〈レベル4〉 高潮危険警戒報
とるべき行動 危険な場所から全員避難				
警戒 レベル 3 相当	〈レベル3〉 氾濫警戒報	〈レベル3〉 大雨警戒報	〈レベル3〉 土砂災害警戒報	〈レベル3〉 高潮警戒報
とるべき行動 避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など				
警戒 レベル 2	〈レベル2〉 氾濫注意報	〈レベル2〉 大雨注意報	〈レベル2〉 土砂災害注意報	〈レベル2〉 高潮注意報
とるべき行動 避難行動を確認(避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど)				
警戒 レベル 1	早期注意情報			
とるべき行動 災害への心構えを高める				

☎ 危機管理課 防災・生活安全係 ☎ お太助フォン 42-5625

## 健康づくりと介護予防 はっらっ健康教室

**教室内容** 健康づくりと介護予防のための筋力維持・強化運動  
**開催時間** 13:30~15:30  
**対象** 65歳以上で、医師から運動制限を受けていない方  
**申込** 不要  
**参加費** 無料

※水分補給のための飲み物を持ってきてください。  
※美土里会場に参加する方は屋内シューズを持ってきてください。

〈6月の開催日程〉

マルシンクリスタルアージュ大ホール	3日(水) 19日(金)
八千代文化施設フォルテ文化ホール	24日(水)
美土里生涯学習センターまなび文化ホール	30日(火)
高宮田園パラッツォ大交流室	10日(水)
甲田文化センターミュージズ多目的ホール	5日(金) 17日(水)
向原生涯学習センターみらい文化ホール	2日(火)

☎ 健康推進課 健康推進係 ☎ お太助フォン 42-5633

未来をたくましく  
生き抜く力を育てる!

# 安芸高田が目指す学校教育

時代の急速な変化とともに、学校での学びも大きく変わっています。子どもたちが未来を生き抜く力を身に付けられるよう、学校・家庭・地域が連携した「協育」を進めています。



子どもたちに求められる力が変わる中で、教育のかたちも進化しています。これからの学びは、未来を生きる力を育てるものへと広がっています。

昭  
和  
・  
平  
成  
と  
大  
き  
く  
変  
化  
し  
て  
い  
ま  
す

知  
っ  
て  
い  
ま  
す  
か  
? 令  
和  
の  
学  
校  
教  
育

### 指導のあり方

- 昔 一律な指導が中心
- 今 一人一人に寄り添う関わりへ

### 学びの環境

- 昔 教科書とノートが中心
- 今 一人1台のタブレット端末を活用

### 授業のスタイル

- 昔 先生の話聞く座学が中心
- 今 話し合いやグループワークを重視

### 制服

- 昔 男子はズボン、女子はスカート
- 今 多様性を尊重し、選択が可能に

### 地域との関わり

- 昔 学校の中で完結する学び
- 今 地域と連携した体験的な学び

### 学力の考え方

- 昔 知識をどれだけ覚えているか
- 今 学んだことをどのように活用していくか

## 教

育長就任から1年。学校や関係者に示してきた方針は、「子どもの学力を付ける」「生涯学習の充実」「推進体制の整備」の3つです。

学力には、点数として見える力と、そうでない力があります。まずは全国学力・学習状況調査など、見える部分の向上に着実に取り組みます。そのために、教員のスキルアップを図り、授業改善や教科ごとの研修を充実させていきます。併せて、「想像・創造する力」「協働する力」「自分を知る力」など自ら考え自律する子どもの育成に力を入れます。

学校経営では、各校長の思いを尊重し、「こういう学校をつくりたい」という挑戦を後押しします。特色ある教育活動が学びの深まりや学力向上につながっているかを検証しながら支えていきます。また、子どもたちが安心して学べる環境づくりには、教職

地  
域  
と  
共  
に  
進  
め  
る

「安芸高田協育」



教育長 猪掛 公詩

員が生き生きと働ける職場が欠かせません。連携を強化し、「チーム学校」としての機能を高めます。

生涯学習の充実では、幼少期から高齢期まで、年代に応じた学びの機会を提供していきます。とくに子育ての視点では、学校と家庭の連携が重要です。

また、芸術や文化、スポーツなどを通して人と出会い、新たな価値観に触れることが、自分自身を高めることにもつながります。こうした学びの広がりが、地域の活力を生み出すと考えています。

これらの取り組みを進めるためには、推進体制の整備も欠かせません。関係する組織や団体との連携を深めるとともに、学校では学校運営協議会を核に、「地域と共にある学校」づくりを進めていきます。地域の宝である子どもたちの健やかな成長を支える仕組みを整え、共に「安芸高田協育」を育み、広げていきましょう。